



老い鳥たちより

第301号

須恵町シニアクラブ連合会

令和8年1月発行



主な内容

	頁
●年頭のご挨拶	
(若杉クラブ会長 藤 英寿)	2
(須恵町長 平松 秀一)	2~3
(須恵町議会議長 松山 力弥)	3~4
(須恵町社会福祉協議会会長 合屋 栄一)	4~5
●若杉クラブ諸行事紹介	
(秋期一斉奉仕作業)	5~6
(若杉クラブ会長杯GG大会)	6~7
(第6回高齢者学級)	7
(第26回郡シ連幹部研修会)	8
●地区クラブ紹介 (恵西百寿会)	9
●会員のひろば	9~11
●広報部からのお知らせ	11
●スナップで見る活動のあれこれ	12

表紙写真について

鳥 名：ヒレンジャク、キレンジャク

撮影地：福岡県春日市

尾羽が赤い方がヒレンジャク、黄色がキレンジャクです。2種類とも冬鳥ですが、キレンジャクは本州に留まることが多い、九州まで南下してくるのはヒレンジャクが圧倒的に多いです。ただ、この年はキレンジャクまで福岡に来てくれて、初めて会えうことができました。

写真の鳥は、クスノキの実を食べにやってきたところを2種一緒に撮影したものです。

(写真・文：上杉和稔)



年頭にあたり

ところで、今年の干支の丙午は「勢い盛んで活力に満ちる年」といわれます。若杉クラブもこの干支にあやかり、健康（高齢期の健康維持・増進活動）、友愛（高齢者相互の支え合い活動）、奉仕（住みよい地域づくりなどボランティア活動）の活動をより主体的に取り組み、笑いと健康の輪を広げて参りたいと思っています。仲間と笑い合い、健康で元気で過ごすこそ、私たちの最大の喜びです。

須恵町長 平松 秀一

新年を迎え、若杉クラブでは会長の年頭の挨拶に加え、平素からご指導とご支援をいただいております町当局の皆様の年頭のご挨拶と激励のことばをいただきました。ここに謹んで紹介いたします。

（広報部会）

須恵町シニアクラブ連合会

会長 藤 英寿



し上げます。昨年は、須恵町シニアクラブ連合会（以下若杉クラブ）の活動にご協力いただき、心より感謝申しあげます。

また、昨年十月十七日（金）に若杉クラブが当番町として開催いたしました令和七年第二十六回糟屋郡シニアクラブ連合会幹部研修

会は、単位クラブ会長や女性部の皆さまのご協力で成功裡に終えることができました。おかげさまで参加された皆さまから「須恵町らしい温かいおもてなし」だと大変好評をいただきました。皆さまのチームワークに心から感謝申し上げます。なお、基調講演では須恵町長平松秀一様から講演をいただきました。記念講演では福岡県老人クラブ常務理事の飯田みゆき様から貴重なお話を賜りました。いずれのお話しも今後の活動

に広げてまいりましょう。これら の活動を通して、新しい仲間を迎えるための会員増強にも積極的に取り組み、若杉クラブをより活力ある組織へと発展させていきたいと心から強く願っております。

本年もどうぞ変わらぬご支援とご協力を願い申し上げます。

結びに、会員の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りし、併せて若杉クラブ発展になお一層のご支援を賜りますことを切に望んで新年のごあいさつとさせていただきました。

（次頁に続く）

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さんには健やかに令和八年・丙午（ひのえうま）の新春をお迎えのこととお喜び申

し上げます。昨年は、須恵町シニアクラブ連合会（以下若杉クラブ）の活動をより主体的に取り組み、笑いと健康の輪を広げて参りたいと思っています。仲間と笑い合い、健康で元気で過ごすこそ、私たちの最大の喜びです。

お互いに声をかけあい、支えあう中で笑顔とふれあいの輪をさら

に広げてまいりましょう。これら

の活動を通して、新しい仲間を迎

えるための会員増強にも積極的に

取り組み、若杉クラブをより活力

ある組織へと発展させていきたい

と心から強く願っております。

本年もどうぞ変わらぬご支援と

ご協力を願い申し上げます。

結びに、会員の皆さまのご健勝

とご多幸を心からお祈りし、併せ

て若杉クラブ発展になお一層のご

支援を賜りますことを切に望んで

新年のごあいさつとさせていただ

きます。

（次頁に続く）



いただきました。

今年も、「運動」「栄養」「社会参加」による、「フレイル」克服を目指していきましょう。

また、政治の世界もまだまだ、不透明な状況が続いております。

昨年10月末にようやく新しい首相世の中になることを願うばかりです。

私は、国情勢がどのような状況になろうとも、就任当初から皆様にお約束しております通り、「須恵町に住んで良かった。須恵町で働いてよかったです。」と思つていただけるまちづくりに邁進してまいります。

さて、今年の干支は十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」が組み合わされた「丙午」です。「丙」は火の性質を持ち、陽のエネルギーを象徴しています。燃え盛る炎のように、明るく、力強く、行動的な意味を持っています。「午」は前進、成功、情熱を表し、行動力と元気を象徴しているといわれています。つまり、炎のよう

に明るく、新しいことを始めるには最適の年だといえるのではないでしようか。

毎年、この紙面をお借りして干

支の紹介をしていますが、私が十二支を意識したのは、中学校の頃でした。当時の国語の授業で、

昔は十二支が方角や時間を表していたということを習い、その時に社会で習った「子午線」や「午前・午後」といった言葉の意味がずっと入ってきたことを思い出します。午の刻とは昼の12時のことなんだ。だからちょうど12時を「正午」と言うんだ。というように知識がつながっていく喜びを味わつたことを覚えています。「泣く子も黙る丑三つ時」なんて言葉の意味も当時は呪文のように唱えていたものに意味があることに気づくことで、学ぶことの喜びを実感したものです。

新年あけましておめでとうございます。須恵町シニアクラブ連合会の皆様には、健やかな新年をお迎えになられたこと心よりお慶び申し上げます。日頃より健康・友愛・奉仕の精神に則り、クラブ活動を通じて地域社会における福祉増進に貢献いただき心より感謝申し上げます。

須恵町議会では、昨年3月定例議会で、「須恵町議会基本条例」の制定を議員発議し、可決、同年4月から施行しました。この条例

るく、力強くそして、新しいことにチャレンジしていただける年になりますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

須恵町議会議長 松山 力弥



議会の在り方を町民の皆様に宣言するものであります。

須恵町議会は、今後この条例に沿った活動を行い、町政の進展と町民の福祉向上に寄与していく

いと考えております。

昨年は、議会報告会を兼ねた住民の皆様とのワークショップ形式での意見交換を「小中学校PTA代表者の皆様」「分館主事の会の皆様」と行いました。それぞれの立場で考える町への要望や期待をお聞きすることができました。全ての要望を実行することはできませんが、その内容に真摯に向き合せんが、町の現状や財政状況を分析し、議会広報紙や映像配信により町執行部との審議・審査結果の見える化を図つて行きたいと思います。

そして、高齢者から若者まで、全ての人がいきいきと元気に暮らすことができる町づくりを目指していきます。

さて、国内政治に目を向けますと、少数与党となり、多党制の時代に突入してきました。多党制は、国民の多様な意見を反映すること

が、会員の皆様にとりまして、明

るく、力強くそして、新しいことにチャレンジしていただける年になりますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

須恵町議会は、今後この条例に沿った活動を行い、町政の進展と町民の福祉向上に寄与していく

いと考えております。

議会で、「須恵町議会基本条例」の制定を議員発議し、可決、同年4月から施行しました。この条例は、議会の最高規範といえる条例で、議会の活性化と充実強化など、

ができる一方、政治運営が不安定になる点が挙げられます。国民の生活に直結する政策に対してもスピード感を失い、ましてや町財政運営に影響を及ぼす結果がないよう、国民全体の幸せや豊かさを第一に考えてほしいものです。

今年は、午年。馬は前向きなエネルギー・成功・繁栄のシンボルとして日本人に長く親しまれました。

令和八年という新しい年の始めに、ポジティブな発想のもと何かに「挑戦」したり、「目標」を掲げ取り組んだりするには、「午」は、まさに理想の年です。今年はきつと「馬九行久」(うまくいく)、この言葉を皆様に送ります。

この言葉は、「九頭の馬」をモチーフにした語呂合わせから来ています。昔から九頭馬は、九つの運気(勝負運・金運・出世運・家庭運・愛情運・健康運・商売繁盛・豊漁豊作・受験合格)を表すとされており、大変縁起が良いとされています。開運や招福の意味も込められています。会員皆様の公私の活動が、何事にもうまくいく年

となりますことを心から祈っています。

結びに、本年も皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますようにお祈り申し上げますとともに、須恵町シニアクラブ連合会の益々のご発展を祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶といたします。

須恵町シニアクラブ連合会の益々のご発展を祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶といたします。

く感謝とお礼を申し上げます。現在、全国的に少子高齢化が進み、社会構造や家庭環境が大きく変化している中、地域で支えあう仕組みづくりがより一層求められているところであります。

昨年の夏、私たちの住むこの糟屋地区にも自然災害の猛威が襲いました。線状降水帯による集中豪雨です。幸い須恵町では被害がなかつたものの、新宮町、古賀市では家屋被害が発生しております。ところが、明らかに手助けが必要と思われる地域から「助けて」の声が上がらないという状況になりました。

その理由の一つとして、近隣住民の関係性の希薄さが挙げられていました。被害に遭われたご家庭が、例えは高齢者夫婦世帯であります。被災地で「もう役ができないから」などの理由で区や組合から退会され、情報不足により、どこに向かって「助けて」を発信していくのが分からず、また近所づきあいもなく、周りからも声をかけてもらえないという状況です。

(次頁に続く)



須恵町社会福祉協議会 会長 合屋 栄一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、須恵町社会福祉協議会の福祉事業推進にあたりまして、格別のご支援とご協力を賜り、深

まつお内科クリニック

循環器内科・リハビリテーション科

☎ 410-2220

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	★
14:00~18:00	●	●	/	●	●	/

★…9:00~13:00まで

休診日

日曜日・祝日

お問い合わせは診療時間内にお願い致します

内科・小児科・循環器科・消化器科・呼吸器科

千鳥橋病院附属

須 恵 診 療 所

所長 岩下早苗

須恵町大字新原232-1 (JR新原駅前)

☎ 934-0011

FAX 934-0014

これはまさに、地域福祉の中核機関として、高齢者から子育て世代まで、幅広い福祉支援を推進する社会福祉協議会の出番であると襟を正す思いではございますが、全町ニーズ把握には、地域住民皆様のご協力、情報提供が何よりも重要なものになってまいります。

須恵町のシニアクラブは、区ごとに各支部があり、支部がない区の方々にも門戸を開いた「アザレア会」もあり、全町ネットワークが充実し、社会福祉協議会にとりましても大変心強い存在です。

全国的な統計では、シニアクラブの加入率は年々減少傾向にあると聞いております。厚生労働省の分析では、長寿者の増加、定年の延長、趣味の多様化が主な理由とされています。時代の流れには逆らえないものもありますが、須恵町シニアクラブ連合会には多くの趣味を網羅するサークルがあり、様々な活動を皆様が生き生きと楽しんでなさっているお姿を拝見し、「須恵町のシニアクラブにはまだまだ伸びしろがある」と思つております。

秋期一斉奉仕作業

若杉クラブでは、各種研修会の参加や健康づくり、生きがいづくりの活動を行つております。このコラムでは若杉クラブの諸行事について順を追つて紹介します。

若杉クラブ諸行事紹介

「し」あわせな一年となりますことを念じまして新年のご挨拶とさせていただきます。

「く」らしが

最後に、シニアクラブの皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともに、「ふ」だんの

「く」らしが

本年は、これまでと同様、福祉事業の更なる充実と発展に努めて参りますので、皆様のご協力とご支援をより一層賜りますようお願ひ申し上げます。

須恵町シニアクラブ連合会

副会長兼研修部会長 駒山 悅章

令和7年9月6日（土）、須恵町シニアクラブ連合会（以下若杉クラブ）は秋期一斉奉仕作業を実施、単位クラブの参加人数は394名でした。

この一斉奉仕作業は、春期（6月）・秋期（9月）の2回実施しています。この取り組みは、単なる清掃活動にとどまらず、「地域に恩返しし、仲間とともに健康で、次世代へ良い環境を引き継ぐ」という非常に立派なことを実践する場です。

そこで、令和7年10月17日（金）の令和7年度糟屋郡シニアクラブ連合会幹部研修会の「須恵町長平松秀一様の基調講演」ならびに「福岡県老人クラブ連合会常務理事飯田みゆき様の記念講演」を基にして、若杉クラブ一斉奉仕作業の意義を以下に整理してみました。参考にしてください。

（次頁に続く）



医療法人

岡 医 院

内 科 小児科 院 長 岡 泰 正

〒811-2114 福岡県糟屋郡須恵町上須恵 787-1

TEL (092) 932-0458



須恵中央眼科

粕屋郡須恵町大字旅石 58-3
TEL 092-609-9666

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~17:30	○	○	△	○	○	—

△水曜日の午後は手術日となっております。

土曜日は 12:00 まで診療

休診：日曜・祝日 HP: suetyouuganka.net

一、地域社会への貢献

若杉クラブが地域の公共施設や道路、公園、河川敷などの清掃・美化活動を行うことは、町全体の環境美化に直結します。行政だけでは手の届かない部分を補い、「地域を自分たちの手で守る」という住民自治の実践として大きな意味があります。

二、会員相互の連帯強化

同じ目的のもとに体を動かすことでも、世代を超えた絆や仲間意識が生まれます。作業を通じて自然と会話が生まれ、「健康・友愛・奉仕」というシニアクラブ運動の三本柱の一つである「友愛」の精神が育れます。

三、健康づくり・生きがいづくり

奉仕作業は無理のない軽い運動として健康維持に役立ちます。また、「自分の力が地域の役に立っている」という実感は生きがいにもつながり、心身両面の健康増進になります。

四、次世代への模範

地域の子どもや若者がシニア世代の活動を目にすることで、「地域を大切にする心」や「ボ

ランティア精神」が自然に伝わります。まさに、地域の「人づくり」にもつながる活動です。

須恵町シニアクラブ連合会 会長杯GG大会

健康推進部会長

赤星 明吉

成績は次のとおりです。なお、

総打数が同じの場合は2打数が多い方が上、更に同じの場合は年齢が勝ちとしています。

令和7年9月29日（月）、須恵町立健康広場において「須恵町シニアクラブ連合会（以下若杉クラブ）会長杯グラウンドゴルフ大会を開催。単位クラブから、男性27名、女性32名の皆さまが参加され、日頃の練習の成果を競い合いました。参加者の最年長者は大島原若翔会の米岡節子さまで96歳、元気ハツラツに楽しまれていきました。
優勝 一番田 堀内 節生
準優勝 甲植木 川端 恵美子
第三位 上須恵 村山 好江
第四位 新原 廣瀬 勝利
第五位 上須恵 中山 千鶴代
第六位 大島原 古賀 一郎
第七位 今村 千鶴代
第八位 大島原 友房 一郎
第九位 佐谷 市丸 古賀 一郎
第十位 佐谷 小山田 千鶴代
佐谷 乙植木 友房 一郎
佐谷 鐵臣 安江 妙 友房 一郎
83 81 81 80 79 79 77 75 72 67

当日は朝から今にも降りだし、うな天候で、予想したとおり競技開始時間が30分ほど遅れました。しかし、その後はGGには絶好のコンディションとなり、コースのあちこちで歓声や笑い声が響き渡り、ホールインワンも多数生まれるなど、終始なごやかな雰囲気の中で、健康づくりと親睦を深めるすばらしい一日となりました。

介護のことなど お気軽に相談ください

[特別養護老人ホーム 恵昭園]

[アネックス 恵昭園]

上須恵 112-3 須恵町コミュニティバス「平原池前」下車

☎ 933-1600

[老人保健施設 若杉の里]

上須恵 112-79 須恵町コミュニティバス「佐谷川原」下車

☎ 933-1630

「さりげなく喜び」「さりげなく温もり」「さりげなく幸せ」をたしかに感じができる生活を支援します



社会福祉法人 恵徳会

内科・リハビリテーション・療養型病床群179床

医療法人 成雅会 泰平病院 院長 堤 康雅

福岡県粕屋郡須恵町大字新原 14-7

☎ (092) 932-5881 営業 (092) 934-0045

介護老人保健施設 永寿苑

☎ (092) 933-5335

認知症高齢者グループホーム 陽だまりの丘

☎ (092) 957-9595

小規模多機能ホーム ぬくもりの里

☎ (092) 957-6080

関連施設 =

配食サービス事業 暖らん便泰平

☎ (092) 933-2790

介護付有料老人ホーム よかよかの郷

☎ (092) 957-0230

り感謝申し上げます。今回の大会を通じて、仲間とともに体を動かす喜びと、若杉クラブの絆の大切さを改めて感じました。



元気はつらつの大島原若翔会
の米岡節子さん。96歳です。



優勝から10位までの受賞者のみなさん。

来年の大会には、ぜひ今年以来多くの会員の皆さまが参加され、より活気あふれる大会となることを期待しています。

第3回高齢者学級

一笑顔で支え合つまち。

須恵を目指して

須恵町シニアクラブ連合会

教養部会長 森 悠子

昨年の10月8日（水）アザレアホール須恵で「認知症の予防と理解」をテーマに第3回高齢者学級が開かれました。

講師には九州大学病院の認知症
看護認定看護師・立石圭先生をお招き
迎えし、認知症の仕組みや早期発
見のポイント、そして日々の生活
の中ができる予防の工夫などを、
親しみやすく分かりやすくお話し
いただきました。

なお、この日は本年度の高齢者学級の閉講式も併せて行われ、冒頭に藤会長が「健康で楽しい毎日を送るために、学んだことをぜひ日々に生かしてください」と式辞を述べ、会場は温かい拍手に包まれました。



—みんな笑顔で学ぶ認知症予防の講話 のひととき— (立石 圭先生)

立石先生の講話では「認知症は誰にでも起こりうる身近な病気。正しい理解と周囲の温かい支えが大切です」と語られ、参加者はうなずきながら熱心に耳を傾けていました。講話の後には活発な質疑応答もあり、笑顔と共に感にあふれる時間となりました。

「今日のお話を家族にも伝えたい」「地域で支え合うことの大切さを感じた」との声も聞かれ、須恵の温かい地域の絆を改めて感じる学びのひとときとなりました。

前川泌尿器科腎臓内科

〒811-2244 粕屋郡志免町志免中央3-6-22

092-410-6728

診療時間（日・祝休診）

時 間	月	火	水	木	金	土
午前9~12時	●	●	●	●	●	●
午後2時~6時	●	●		●	●	

月・火・木・金…最終受付17:30 水・土…最終受付11:30
(お問い合わせ、ご予約は受付時間内にお電話ください)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団正信会 水戸病院

TEL 092-935-3755
内科(呼吸器・循環器・消化器・肝臓・糖尿病・脂質代謝・内分泌・神経・老年)
小児科、アレルギー科、リハビリテーション科、臨床検査科、禁煙外来、
物忘れ外来、各種検診(生活習慣病・胃がん・大腸がん・肺がん・肝臓
がん・骨粗鬆症)、各種指導/相談

介護老人保健施設 ニューライフ須恵	☎ 937-1055
あすなろ訪問看護・ヘルパーステーション	☎ 936-9653
居宅介護支援事業所 ケアワイド21	☎ 957-3321
須恵町在宅介護支援センター	☎ 937-0255
住宅型有料老人ホーム コンフォート須恵	☎ 935-3850
コンフォート須恵デイサービスセンター	☎ 935-3850

令和7年度第26回糟屋郡シニアクラブ連合会 幹部研修会を終えて

須恵町シニアクラブ連合会

会長 藤 英寿

なしだった」と大変好評をいただきました。皆さまのチームワークに、心から感謝申し上げます。

以下にまとめを述べます

▼参加人員・進行など

シニアクラブ連合会（以下若杉クラブ）は、当番町として若杉クラブ令和7年度第26回糟屋郡シニアクラブ連合会幹部研修会をアザレアホール須恵大ホールにおいて開催しました。

▼個別の所感

①平松須恵町長の「まちづくりに欠かせないシニアクラブの存在について」の基調講演は、超高齢者社会の課題解決にはシニアクラブと行政の協調が不可欠であるというお話しで、参加された幹部の皆さまには大変役に立ったと感想です。

②粕屋町ならびに須恵町の事例発表は、いずれも仲間づくりを主

題としたもので、幹部の皆さまお蔭をもちまして成功裡に終えることができ、参加された皆さまからは「須恵町らしい温かいおもて

考になる発表でした。



事例発表中の辻副会長

③県老連常務理事（事務局長）の

「老人クラブの現状・課題等」

の記念講演は、老人クラブの組織・運営・課題・会員増強運動について、テキストや資料集を用いて具体的に分かりやすく講話いただきました。テキストと資料集は、今後の活動の「虎の巻」として活用されることを期待しています。

④歓迎行事の若杉クラブ童謡の会と女性部のオバサンサンバⅡは、会場を和やかに包み、親睦を深める良い交流の場になりました。

ののの
太田整形外科

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

須恵町役場ソバ
(アザレアホール横)

☎ 932-8877



株式会社 かすや 葬祭部

福岡県粕屋郡粕屋町大字大隈1229番地
TEL(092) 938-2868 (24時間) FAX(092) 938-0811

やまとぎ会館

かすや斎場 粕屋郡粕屋町大字戸原325-2 TEL(092) 931-3533
すえ斎場 粕屋郡須恵町大字旅石20-1 TEL(092) 937-4311
こが斎場 古賀市川原1542-2 TEL(092) 944-6511

24時間営業・年中無休でご奉仕させて頂きます。

お問い合わせ(かすや葬祭)

ナクハナイトレイ

フリーダイヤル 0120-798710

地区クラブ紹介

恵西百寿会　辻　桂子

令和7年度の会員数66名（前年度58名）総会時には会員増強クラブで表彰されましたが、今年に入り3名の会員の方がお亡くなりになりました。

年間行事は、小地域ボランティアニコニコ会と合同で出来るものは行い、百寿会会員と会員ではない方もこの時は一緒にゲームをしたり、グランドゴルフをしたりにぎやかに開催しています。毎回全員に参加賞を出し、ゲームでは1位から3位まで個人賞、チーム賞は1位から6位まで主婦目線で選んだ豪華賞品が大変好評です。商品代は百寿会とニコニコ会が折半です。その為にも4回の資源回収は大きな資金源です。赤星副会長の廃品回収車が常に町内を回り、アルミ缶はもとより、ネジ一つ見落とさず回収し、町内の美化作業にも貢献しています。（笑）

又、若杉クラブの行事では、参

加された会員さんには昼食代を支給し、車を提供された方（資源回収、歩こう会）にもガソリン代として支給し楽しく気持ち良く行事に参加して頂ける様、試行錯誤しています。

秋の日帰り旅行も去年から辞め、翌年の若杉クラブの新春初詣にそ

の費用を足して、会員の皆さんにはわずかな会費で行ける様にし、好評頂いています。そうする事で私達役員の場所探し下見とか労力がかなり減り、一石二鳥といったところです。

若杉クラブ行事も参加率トップを目指し、日々新しい事に挑戦し、百寿会が地域の皆さんのよりどころとなる様頑張ります。

会員のひろば

熊の出没を考える

一番田恵比寿会　堀内　節生

九州には、熊が生息していないとされている。熊の被害は北海道から東北地方が多い。山野の餌の

不足が原因と言わっている。北海道では、出動を要請されていた猟友会員が、住宅の近くで熊を射殺した。発砲した位置を問われ「狩猟免許」の取消処分となつた。会員は行政不服審査法による裁判中である。

関連する法律は次の通り

- ・鳥獣保護及び狩猟ニ関スル法律
- ・環境庁所管狩猟者の登録免許
- ・狩猟用火薬類譲渡または譲受許可申請
- ・銃砲刀剣類所持等取締法

前二項は知事に、後二項は公安委員会申請です。

狩猟をするには、銃器、網、罠、

そのほかの道具から銃器を選ぶと銃弾も公安委員会の許可、狩猟免許は県知事に申請します。銃器には、短、水平、上下二連と自動五連（国内は弾装を三連）ライフル銃（以外の銃器取扱い経験五年以上の者）を所持することになります。ライフル銃以外は、散弾銃と呼ばれるプラスチックの薬莢に粒状の鉛玉を装填した装弾を使い、飛翔距離は短い。今般の熊はライフル

財団法人日本医療機能評価機構
長期療養病院認定医療機関

医療法人 みなみ

粕屋南病院



- 内科 ●腎臓内科 ●人工透析内科 ●循環器内科 ●消化器内科
 - 糖尿病・代謝内科 ●リハビリテーション科 ●歯科
 - みなし介護支援センター
 - 粕屋南訪問看護ステーション
 - 福岡県粕屋郡宇美町神武原
6丁目2番7号
 - TEL (092) 933-7171代
- 上須恵、一番田、城山経由の巡回バスを運行しています。
ご入院等のご相談は
—フリーダイヤル—
0120-862-373

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	●	手術	●	●	△

休診・・・・・日曜・祝祭日



田原眼科

粕屋郡志免町志免2丁目2番33号
TEL (092) 935-0112

ル銃が使用されたと推察します。

ライフル銃の性能は強力で、こ

の種は兵器となつてゐる。厚さ24

ミリの松の木板12枚を貫通するの

で熊の体内から抜けてゐるでしょ

う。それだけに、住居があれば危

険です。推定ですが熊の後方に人

がいたと思えません。

熊や熊の被害のほか、猪による

被害は年中見られます。猪は、食

肉として需要があるが、熊はかつて臓器が薬用だつたが、化学の進

歩とともに需要はない。現在は人

間を襲う危険動物になつてゐます。

熊や熊が山野から市街地に出没す

るようになつた原因は餌の減少か、

個体増加は定かでない。捕獲する

ハンターも減つてゐるのです。

本来、熊は冬眠します。空腹の

ため熊が季節に関係なく出没する

ようになつたら、法律で定めた狩

猟期間も問題になります。

冒頭の高裁で審議中である猟友

会員への寛大な採決を願つていま

す。

安心して公園や野山を歩けるよ

うになつてほしいのです。

わたしの半生

昭穂若鶴会 篠原 敏治

私は会社員勤めの27歳の時、パ

ニアニューギニア（PNG）とい

う国に赴任し、定年の65歳まで同

国で勤めました。勤務地はオープ

ンベイと言い、ニューブリテン州

都ラバウルから直線距離100キロ、

海上交通で150キロの距離です。（道

路は全くありません）

ここで、植林と伐採を行い、道

路、橋、学校、病院、教会、空港、

港湾等のインフラ整備が私の仕事

です。

植林は一万四千haを30年掛かつ

て植えました。植林木は15から18

年で直径50cmになり伐採するので、

私の滞在中に2度伐採した森林も

あります。これらの木材の一部は

製材工場に投入、そして大部分は

専用船に積み込んで輸出します。

輸出先は、日本の国力低下と共に、

日本から中国、ベトナムへと、替

わつていきました。

PNG国には、八百の部族、言

語があります。政府認可による我

が社の開発地域には、九の部族が居ました。彼らには、未だ貨幣経済は普及しておらず、伝統的な狩猟採集生計を立てていました。

先の大戦の後、この国はオーストラリアの被統治国となりました。そして、私が赴任時は、この国の独立（1975年）直後であつたため、全てがオーストラリア人の元で廻っていました。

赴任した会社には、買収した会社の旧経営幹部オーストラリア人が20名から30名、中堅どころのフイリピン人が数名、労働者としての現地人が数十名、そして新しい経営者としての日本人が数名居ました。

白人は現地人から、男性はマスター、女性はミセス、と呼ばれ、現地人を男はボーイと呼び、女はその名で呼んでました。

白人の権力は絶対的なものでした。現地人は白人の言う通りにせねばなりません。彼らは肌の色が黒い事、髪が縮れている事に強い劣等感を持っていました。私はその現地人達に劣等感を撥ね退け、

（次頁に続く）



社会医療法人 青洲会
青洲会クリニック

診療科 内科 外科 整形外科 泌尿器科
腎臓内科（人工透析）リハビリ科

企業健診 個人健診 日帰りドック

訪問診療 訪問看護 訪問リハビリ

看護小規模多機能型居宅介護「青洲のあかり」
居宅介護支援事業所「ケアサポートS」
青洲会クリニック 通所リハビリ
青洲会クリニック デイサービスセンター 併設

住所：糟屋郡志免町志免4丁目1-7 TEL：092-937-0422



医療法人 シルキーライフ

つつみ歯科医院

Promotion Team for your Health & Smile

- ・むし歯治療・予防歯科・小児歯科・歯周病治療
- ・インプラント・矯正歯科・セレック治療・審美的な治療
- ・ホワイトニング・義歯（入れ歯）・口腔外科・歯の移植

【平日】9:30~13:00/15:00~19:00

【土曜】9:00~12:30 【日祝】休診

当院は予約制となっております。

092-933-5952

〒811-2113 福岡県糟屋郡須恵町須恵字古宮769 番3

会社を支える人間になつて欲しいと望んでいました。数年後、会社で植林を始めてからは、規模も大きくなり、大勢の地元住民を雇うようになりました。

私は、住民の為に幼稚園、小中学校を造りました。また、高等教育として、希望する者には医者、木材鑑定等の専門教室に行かせ、社内では、電気、機械の修理整備、重機、船舶の運転技術、家屋、橋の建築建設等を教えました。そして、数年後、彼らは会社のクリニックで医者、看護婦として、修理工場でメカニック、電気技師として働いてくれるようになりました。一部は、出身部落へ帰り、オーナーで培つたものを使って、そこで落ち着いた仕事をするようになりました。

この現場での38年は「夢と希望を持つ事が出来る環境作り」「自分、家族、会社、自國にプライドを持つ事が出来る人間造り」をスローガンに現地の人々の認識、生活を向上させようと、夢の実現を目指し、正に私76歳の半生でした。

新米班長頑張っています。

旅石豊寿会 末延 朱実

十年前に大分県の中津市より息

子家族との同居を決意して旅石に移り住みました。旅石は道も狭く、大きな門構えの家ばかりで散歩していくても誰にも会いません。ここでずっと暮らして行けるのかと不安な日々でしたが、近所の藤会長と小さな孫たちが仲良くなり、時々

我家に来訪され豊寿会入会を何度も勧められました。私はまだ若いし?やりたいこともありましたから毎回やんわりとお断りしていました。

した。

何年か経ち、私もずっと旅石で暮らすのなら地域の方々と関わって楽しい老後を送りたいと思い始め、四年前豊寿会に入会させて頂きました。それからは毎月の旅石八幡宮の清掃や色々な行事に参加して、皆さんとも顔見知りになり楽しく過ごしています。

まだまだ新米の班長ですが、皆さんのお役に立つ事に喜びを感じ、わたしもまた幸せに過ごせます。今では豊寿会に入つてよかったです。

高齢者の皆さんが残りの人生を幸せい過ごすのは家族も大事ですが、同世代の方々が集まつて色々な行事で楽しくお話をすると元気の源だと思います。

まだまだ新米の班長ですが、皆さんのお役に立つ事に喜びを感じ、わたしもまた幸せに過ごせます。

「今後本格的な流行が予想される」として、手洗いやマスクの着用など感染対策の徹底を呼びかけています。

令和7年11月号の中で、お名前の間違いました。

11頁の会員訃報のなかで、

令和7年11月号の中での間違いました。

恵 西 中尾 良子 様 80歳は

恵 西 中尾 正實 様 80歳

でした。お詫びして訂正いたしました。

広報部からのお知らせ

広報紙	老僕たより	第三百一号
発行日	令和八年一月六日	
発行所	須恵町シニアクラブ連合会	
	須恵町上須恵一六七一三	
	須恵町社会福祉センター内	
	TEL〇九二（九三三）二二六〇	
発行人	藤 英寿	
編集	広報部会	印刷所 大道印刷

新参者の私がと迷いましたが断る事も出来ず、楽観的な性格も後押してお受けしました。班長になつて半年ですが、班の方々の家を訪問し、行事のお誘いやアルミニウム回収等で少しずつ地域に溶け込めているような気がします。

令和7年10月21日～22日実施の会員研修旅行については、紙面の都合上、令和8年3月号302号でご紹介いたします。

編集後記

スナップでみる活動のあれこれ(GG大会、郡シ連幹部研修会)



雲行きが怪しくなる中、参加者全員で準備運動のラジオ体操をしました。
天気が回復し、終始なごやかな雰囲気の中で競技を楽しめました。
最後に、アトラクションゲームのホールインワン競技を楽しみました。



郡シ連幹部研修会開会式



郡シ連役員の皆様



ご来賓の皆様



須恵町平松町長の基調講演



飯田事務局長の記念講演



郡シ連幹部研修会会場入口